

後援会ニュース

2025年11月号（部内資料）

発行 日本共産党かすみがうら市後援会
〒315-0053 かすみがうら市稲吉東 4-5-18
TEL029(834)7366 FAX 029(834)7367

議会報告会 11/15

11月15日（土）下稲吉コミュニティーセンターで
議会報告会が開かれました。35名参加。

佐藤ふみお議員から9月議会の一般質問の主な内容の
報告がありました。



〇市街地中央に図書館・文化交流センター整備について

議会では、公共施設の在り方検討委員会での結果についてまだ把握していないので答えられないとの答弁でした。10月に各地域で開かれた「地域ミーティング」では、やまゆり館に図書館を作るとの計画が発表されています。

〇学校給食無償化と教材費等保護者負担解消について

小学校の給食無償化の国の方針で交付金が出るが、来年度の無償化実施については、明言しませんでした。近隣の土浦市や石岡市で給食無償化が実施されています。給食無償化の声を大きく上げていきましょう。

そのほか 〇入札価格が高くなる予定価格の事前公表などの入札制度の問題

〇地下水という自己水源を放棄して水道水をすべて県から受水する水道事業の広域化に参加する

〇国民健康保険税の所得割が上げられましたが若い人の滞納が多い。決算を見ると税収はアップ、療養給付費はマイナスで黒字会計。国保税値上げの必要はなかった

〇新治小学校の貸し付けについて、借り受ける霞ヶ浦学院の方から新治小の貸し付けに賛成の声もあると意見が出されました。

住民の声を丁寧に聞けるし、霞ヶ浦学院からの意見も聞くことができる調査特別委員会設置を提案したが、議会で否決されてしまった。

参加者から

- ・水道広域化で日常的な水道のメンテナンスはどうなるにか一県の企業局になってしまう
- ・広域水道に参加するかどうか変更が可能なのか一市長の専決事項なので市長の考え方一つ
- ・神立病院が撤退したが、市内に大きな病院が欲しい
- ・コミュニティーセンターと名前になったが全然中身が変わらない、障害者も利用しやすい施設を早く作ってほしい

しんぶん赤旗 日曜版 電子版 START

日本を動かすジャーナリズム

無駄しないメディア

スマホから、豊富なコンテンツが月990円で読める！



12月3日（水）1番目に登壇

予定時間は午後1時半～

佐藤議員の一般質問



令和7年かすみがうら市議会第4回定例会は11月25日（火）から開催されます。一般質問は、12月3日（水）～5日（金）に行われます。佐藤ふみお議員は3日（水）の1番目に登壇します。予定時間は午後1時半になります。是非傍聴に行きましょう。

質問事項	質問の要旨
1. 庁舎管理規定について	・宮嶋市長は10月31日、本市の庁舎等管理規則の一部を改正した。いま何故改正を強行するに至ったのかについて、問う。
2. 複合交流施設の見直しについて	・2022年の宮嶋市長の選挙公約と市長が諮問した『中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会』における議論とその方向について、私は食い違いがあると感じているが、市長の見解を問う。
3. 水道事業の広域化について	茨城県のシミュレーション言いなりで『1県1水道』事業に当市が加盟を決定した。これまでの一般質問での議論を含め、その問題点について、問う。
4. 入札制度の改革について	・公契約条例の制定について、問う。 公契約条例とは、自治体発注の公共工事などに従事する労働者の賃金に下限額を設定し、自治体や受注業者側が下限額以上の賃金を保障する責任について明確にするもの。重層下請け構造の建設業界では、大手の元請け事業者などによる“中抜き・ピンはね”が横行。労働者の賃金が不当に抑えられているとして、条例制定を求める声が強まっています。



後援会ニュース

号 外
25.11.24

発行：日本共産党かすみがうら市後援会
TEL 029 (834) 7366 FAX 029 (834) 7367

資料 部内